

小学校で生産者による食育出前講座を実施

薩摩アスパラ生産組合の生産者は、4月26日に彦根市立稲枝北小学校の4年生15人を対象に「食育出前講座」を実施しました。この講座は「給食用野菜を通じた食育推進事業」を活用したもので、生産者がアスパラガスを使った給食と一緒に味わいながら「食」への思いを伝えました。

薩摩アスパラ生産組合では、5戸約80aのパイプハウス団地でアスパラガスを栽培されており、以前から学校給食に供給されています。

この日は、持参したグリーンやホワイト、紫のアスパラガスと生育過程のわかる写真を見せながらアスパラガスの栽培について説明されました。また、紫アスパラガスを熱湯に浸けると緑に変化する実演を行い、児童たちの興味を引いていました。

その後、児童と一緒に給食「アスパラ入りミルクスープ」を食べながら、交流を深めました。

農産普及課では実施に向け、出前講座の内容等について、生産者と学校との調整を行いました。

今後も、このような生産者の思いや食の大切さを伝える取組が広がるように、食育を進めていきます。



生産者が食育授業



給食を味わう生産者と児童